

係の会員の皆様にはご案内のチラシを送付させていただきましたのでそちらをご参照ください。

■食品部会

【議案6】栄養分析助成について

9月より、栄養分析についての助成活動（会員団体に検査分析料金の半額を助成）を開始します。年度内の試験的取り組みと位置付け、次年度以降の助成活動に継続させることを前提に、予算総枠、助成金額等について、年度終了後食品部会にて妥当性を検証することとします。年度内の予定助成額は200万円を見込みます。

助成対象の栄養分析内容は基本パターン（エネルギー・水分・蛋白質・脂質・炭水化物・灰分・ナトリウム食塩相当量）1種類。検査分析委託先機関は（株）三菱化学ピーシーエル。仲介業務を行なうにあたり、事務局は申請者より仲介事務手数料として申請1回につき1,000円を申し受けます。助成金額は当面、分析費用の半額（4,500円）に設定、消費税は申請者が負担。具体的なご案内は9月より別途、対象となる皆様にチラシにてご案内をしていく予定です。

【議案7】水産原料ネットワークの構築

水産業、水産加工業の会員の皆様の活動に資することを目的とし、今後標題のテーマを構築すべく準備していきます。

概要：国内水産原料となる水産資源「原魚」の枯渇について警鐘が鳴らされて久しく、今後Radixに関わる水産業、水産加工業会員の自衛、ひいては水産資源の確保とその重要性の啓蒙等を目的として、各会員団体の持つ原料情報を共有し、相互に交換、より良い生産、製造を担保するための仕組みを「Radix水産原料ネットワーク」と称し、その内容構築を進めます。

詳細：本年度は役員、らでいっしゅぼーや、事務局にて準備会を持ち、検討準備を進め、年内に構想、具体的手法をまとめ、翌年より実施の段階に入れるようにしていきます。Radixの会副会長・竹並一人氏（別所蒲鉾店・島根県）を座長として、副会長・川崎孝文氏（らでいっしゅぼーや商品部次長）、幹事役員・川合正憲氏（内浦漁業協同組合・静岡県）、事務局竹内にて準備会とし、検討を開始、検討内容をまとめつつ、事務局はアンケート調査等を行ない、関係会員への要望や意見を集約していく予定。

【議案8】2002年度製造管理技術講習会

昨年好評だった「衛生管理技術講習会」を、本年度は「製造管理技術講習会」として継続して開催していきます。

よりわかりやすく、参加者・主催者の双方向型の講習会とするため、開催規模を30人以内の小規模講習会とします。概略年6回の開催をメドとし、このうち3回分を年度内に実施、次年度夏までに3回を開催、本年度の初回を9月27日、11月、2月とします。

内容は時事社会情勢を元にした講義、事前アンケートによるテーマ講義、テーマフリーの質疑の3本立てとし、可能であれば会員メーカーの事例紹介も加えていきます。

■交流部会

【議案9】交流ツアー関連活動

えりもツアーの実施：交流部会では、前回役員会での方向性決定を受け5月27、28の両日の現地視察を経て、えりもツアーの実施を決定しました。60万円の助成を行ないます。当ツアー開催は、会員団体各地域の協力による、らでいっしゅぼーや会員向け企画「らでいっしゅ村」構想実現のための予備試験として

位置付け、各種課題を調査することを目的としています。

その他ツアーイベント等助成：本年度のツアー助成予算残額100万円を、各地で実施している既存の産地交流ツアーへの助成活動に拠出します。各交流ツアーに参加の消費者会員ひとりあたり500円を上限とし、費用実費についての助成をします。本年度限定の試験的取り組みとし、助成の対象期間を本年3月まで遡り12月までの10カ月とします。

【議案10】スローフード視察旅行

前年10月の「ニッポン東京スローフード協会」設立より、Radixの会は当会の会員団体となり、「スローフード」をRadixの活動の一つの柱として来ました。今秋その協会の本部である、スローフード協会とイタリアピエモンテ州主催による2年に1度のイベント「サローネ・デル・グスト」が開催されます。らでいっしゅぼーやは同イベントの国内プレスリリース（6月27日開催）の特別協賛団体となりました。以上の経緯から、この国際イベントならびに協会本部のイタリア本国での活動視察の予算として、新たに200万円の拠出を行なうことを決定しました。

※議案ならびに議事録等の詳細についてご照会・ご質問等ご要望がございましたら、事務局までお問い合わせください。